



2023年5月15日発行

## 👤 四中の卒業式

長男の精密検査に付き合ったので招待された六中の卒業式には行けなかったのですが、志木中央病院に近い四中の卒業式には顔を出すことができました。

正確には卒業式の後の体育館でのビデオ上映に参加できたのです。僕は四中の卒業生たちの3年間を見て、**涙が止まらなくなりました**。コロナのせいで多くの行事が無くなった3年間でした。

今年の卒業生は1年生で入学式は教室。校外学習、スキー教室、体育祭、合唱祭は全て中止。三送会はビデオ上演。

2年生、体育祭中止で秋に学年のスポーツフェスティバル。合唱祭中止、東京遠足が川越遠足に。入学式と卒業式は当学年が参加。その子達がビデオの中で「初めての体育祭」二色対抗の**応援合戦に燃える三年生**。教員リレーに燃える先生たち。

そして、**最後の授業で号泣する若い先生達の姿**を見ていたら、涙が止まらなくなっていました。

僕の教え子(四中校長が五中の10期生)や後輩達が、コロナで大変だった3年間だったけど、素晴らしい学校を作り上げたんだなあ・・・そう思ったら、また泣けてきて・・・最後の学活の後、校舎の前でギターを弾いて唄う子ども達。それを暖かく見守る先生達と保護者の方達の姿も見ました。

四中には本当に素敵な先生達と子ども達がありました。きっと、他の中学校でも涙と感動の卒業式が行われたのでしょう。**後輩達の3年間の頑張りに拍手を送ります**。

その先生達の駐車料金がこの4月から15年振りに無料になります。若い、僕の後輩の先生達の頑張りに、少しだけですが、僕の15年間の議会での頑張りが役に立ったのかも知れません。👤



僕の最初の教え子達、函館中部高校の子ども達です。大沼公園への遠足に呼ばれて参加しました。大学4年生の僕です。👤

## たかやんのプロフィール



本名たかむらともや  
東京青山生まれの  
新宿育ち。新宿区立  
西戸山中1年の1学  
期はバスケット部、2学  
期はバレー部、3学  
期はテニス部という

ふざけた中学生だったが、そのテニスとの出会いが人生を変えたのだから面白い。高校も大学も**テニスで選ぶ**。大学3年の時

朝日新聞の「今学校で」を読み、突然テニスを捨てて、**教師になる道を選択**する。

そして教師になって21年目の春、その道を捨てて**カナダに行く選択**をする。

帰国後「たかやん塾」と「うどん屋」をはじめめる。2004年「たかやん塾」と「市議会」の両方で燃えはじめてから20年の月日が経とうとしている。教え子や地元の仲間、そして小中高生と月に一度、黒目川の川掃除をはじめて15年。7つの駅8か所で駅立ちをはじめて18年。写真は五中の陸上部で息子の顧問だった潤とのツーショット。👤

## 👤 中間テストなし！！

今回の「一般質問」で要求した資料の中に、なかなか良いものを見つけました。第二中学校では中間テストがなし！という教科があったのです。

教育長に『テストなしでどうやって評価するのですか？』と聞くと、「單元ごとにテストをやっています。」という答弁が返ってきました。その第二中学校は**新年度から全教科で中間テストを廃止**するようです。

その方法だったら、子ども達の負担も少ないし、先生達の負担も少なく、授業に集中する子達が増えていくでしょう。前に定期テストがない麴町中学校や桜丘中学校の話をここで紹介しましたが、新座の中学校も少しずつ良い方向に変わってきているのです。

第二中学校は勿論、提出物の量が前と比べて、圧倒的に少なくなってきたことも良いことです。大量の提出物が子ども達の「学力向上」どころか**「学力低下」を招いていることに優秀な先生達は気付いたのだ**と思います。

嘗ての第五中は学力が県でトップだったことは前にもお伝えしました。

当時の五中生は勉強もしましたけれど、滅茶苦茶遊びました。僕のクラスなどは3年の2学期の定期テスト前の日曜日も校庭で遊んだのですから気合が入っていました。それで県でトップすから、誰も文句を言いませんでした。

近い将来、そういうことが又起きるかも知れません。無理やり書かせて、時間だけ使わせて、「内申」という言葉で生徒指導をする。そんなやり方は古いし、学力が落ちて当たり前です。

どうやって、「**A10神経群**」を刺激するか、どうやって「**非認知能力**」を高めていくか、それを研究して、授業を工夫するだけで、子ども達はグングン伸びていくでしょう。



## 👤 付帯決議

この3月議会では**由臨会の島田さん**から「一般会計予算に対する付帯決議」が提出されました。

政和会の嶋野さんが反対討論、共産党の小野さんが賛成討論、語る会の僕も賛成討論をしました。そして、付帯決議は可決されたのです。

知る限り、**政和会（自民）と公明党が新座市議会の採決で同時に破れたのはこれで2回目**。1度目は「マスクに関する意見書」で、それも由臨会・共産党・語る会の賛成で委員会での採決がひっくり返って可決されたのです。

予算を執行するにしても、市民や市民を代表する多くの議員が疑問に思ったことに関しては、丁寧に市民と議会に説明をしながら予算を執行して欲しい。そう思うのです。



## 👤 統一地方選



川口の市議会選挙に挑戦した友達の応援に「**たかやんの応援団**」がポスター一枚りに出動し、貢は無事当選！！

僕や藤田貢と同じような「**本当の無所属**」が地方議会にも増えて、政党の制約を受けずに**自由にものを言える人が増えていったらいいなあ**・・・。

そうなれば市民の政治に対する関心が自然に増して、投票率も上がっていくでしょう。搾取されている側の人達がみんな政治に参加すれば政治が変わり、搾取されなくなるのです。

